



平成29年度の予算案をお知らせします…………… 2・3面

 組織改正、執務室の一部移転などのお知らせ…………… 4面

 コミュニティバス(みたかシティバス)の運行ルートと運行ダイヤを一部変更します…………… 5面

 市からのお知らせ…………… 11面から

 引越シーズン 手続きはお早めに…………… 12面

平成29年度予算案 || 一般会計 676億1,987万円

新年度の施政方針(概要)

『三鷹中央防災公園・元気創造プラザ』がいよいよオープン！ 市民の皆様と、ともに考え、ともに創る、「防災」と「元気創造」の活動が広がり 新たな「民学産公の協働」のステージへ

平成29年度の市の予算案が、2月24日から始まった市議会定例会で審議されています。新年度は、4月に「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」がオープンし、「防災」と「元気創造」の活動が広がるとともに、未来に向けた市政のビジョンや在り方を考え、それを目指すための方法や施策を創り出そうとする動きが活発になることが期待される年度です。

市では、引き続き、高環境・高福祉のまちづくりの向上を目指して、幅広い視野と、一人ひとりを大切にするきめ細かい視点を併せ持ちながら、新たな「民学産公の協働」のステージへと歩みを進めていきます。

予算案の概要については2・3面で紹介しています



三鷹市長
清原慶子

三鷹市は、昭和48(1973)年に、日本で初めての住民協議会によるコミュニティセンターの管理運営を開始するなど、40年以上にわたり、社会の変化と要請に対応しながら、「民学産公の協働」のまちづくりを推進してきました。一方、近年、いわゆるポピュリズムや反グローバリズムなどの動向が、改めて民主主義の在り方を問題提起している現状にあって、私は、平成29年度の予算編成に際して、『三鷹市基本構想』に掲げる「平和の希求」「人権の尊重」「自治の実現」を基調としたまちづくりの将来像を目指して、『三鷹市自治基本条例』の基本理念である「参加と協働」のプロセスを大切にする市政を、二元代表制の両輪である三鷹市議会の皆様とご一緒に、前進させていきたいと決

意しています。

そして、「民学産公の協働」による「防災」や「元気創造」の活動が広がる舞台となる、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」は、これまでの施設で長年にわたり継続されてきた活動を継承し、さらに利用や活動の広がりによって、市民の皆様の「元気創造」と、そのことによる三鷹市という地域の「元気創造」がもたらされる拠点であり、「民学産公の協働」のまちづくりを支える拠点の一つとなる可能性を持っています。

施設のオープン以降は、運営について、何よりも安全性、快適性、利便性の確保を図りつつ、市民の皆様のご意見やご提案を傾聴し、それを反映する仕組みづくりに努めたいと思います。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザを拠点とした「元気創造都市・三鷹」の推進

「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」については、多様なサービスや事業を提供し、市民のみなさんの幅広い活動の推進と交流を図ることを目指します。そして、災害時には「防災の拠点」、平常時には「元気創造の拠点」として、多様な機能が融合した市民満足度が高まる施設となるように、指定管理者である(公財)三鷹市スポーツと文化財団と連携して、市民・関係団体・市の協働による魅力的な事業展開を図ります。

「総合スポーツセンター」は、市では初めて、企業とのネーミングライツ(施設命名権)に関するパートナーシップ協定を富士重工業(株)と交わすことにより、愛称名を「SUBARU総合スポーツセンター」とします。その運営に当たっては、関係団体との協働をはじめとして、民間活力を導入してスポーツ教室など多様なスポーツ事業を展開するほか、健康・体力相談支援システムを活用して市民のみなさんの健康と体力の増進を図ります。



総合スポーツセンター
(メインアリーナ)

「三鷹中央防災公園」は、平常時には健康増進やレクリエーションの場としての機能を果たし、災害時には一時避難場所となります。また、「総合防災センター」は、災害時には災害対策活動の拠点として中心的な役割を担う

ことから、機関連携訓練や災害情報システムの運用などを通して、危機管理体制の強化に取り組み、「安全安心のまちづくり」の推進を図ります。

第4次三鷹市基本計画(第1次改定)の着実な推進

◆最重点プロジェクト「都市再生」について

小中学校の校舎、保育園などの建て替えや改修を優先して計画的に進めており、公共施設の耐震化・老朽化対策は一定の目標を達成していると言えます。

そこで、昭和40(1965)年の竣工(しゅんこう)から52年が経過している庁舎等について、昨年8月に三鷹まちづくり総合研究所に「庁舎等の建て替えに向けた基本的な枠組みに関する研究会」を設置し、6月には最終報告書の取りまとめが予定されています。今後は、新庁舎整備に向けた基本構想策定の取り組みを丁寧に進めます。

「三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業」については、引き続き、都市計画決定に向けた取り組みを進めます。また、三鷹駅南口ペDESTリアンデッキのエレベーターとエスカレーターの改修など、市民サービスを支える社会基盤の更新について、予防保全の観点から計画的に取り組みます。

◆最重点プロジェクト「コミュニティ創生」について

「地域ケアネットワーク推進事業」では、傾聴ボランティア養成講座の実施など担い手の広がりや地域とのつながりを深め、誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らすことができる共助のまちづくりを推進します。

また、4月から「児童館」が「多世代交流センター」になり

ます。児童館機能の強化に加えて、生涯学習などの社会教育会館機能を発展的に継承するほか、中高生を対象とした居場所づくり事業を拡充し、多世代交流を通して課題解決が図られるよう取り組みを進めます。



西児童館での多世代交流の取り組みの様子

◆重点プロジェクトについて

「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」に位置付ける7つの重点プロジェクトを着実に推進します。

※重点プロジェクトの概要は2面をご覧ください。

持続可能な自治体経営に向けた行財政基盤のさらなる強化

平成30年度は、国民健康保険の運営の都道府県単位化、介護保険および後期高齢者医療の保険料改定、障害者総合支援法の改正に伴う地域生活支援の拡充、保育園待機児童の解消に向けた施策の拡充など、社会保障制度に大きな変化が集中的に表れることが想定されます。そこで、30年度を社会保障「2018年度問題」と捉え、三鷹市を含む市町村に急激な負担増などが生じないよう積極的に財源保障を求めるとともに、引き続き、行財政改革を推進し、より強固な財政基盤の構築に取り組みます。

施政方針全文は市ホームページでご覧いただけます

平成29年度の予算案をお知らせします

問 財政課 ☎ 内線2126

平成29年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,097億2,541万円で、前年度予算と比較すると10億1,494万9千円(0.9%)の減となります。

一般会計の予算額は676億1,987万4千円で、前年度予算と比較すると19億1,905万4千円(2.8%)の減です。これは、高齢者支援、障がい者(児)支援、子ども・子育て支援などの社会保障関連経費が増加したものの、三鷹中央防災公園・元気創造プラザや上連雀分庁舎の整備完了など、都市再生に係る経費が減少したことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は421億553万6千円で、前年度予算と比較すると9億410万5千円(2.2%)の増です。これは、介護サービス事業特別会計が減となったものの、国民健康保険事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計が増となったことによるものです。

今号では、こうした29年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	増	減
一般会計	67,619,874	69,538,928	△1,919,054	△2.8%
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	20,422,436	20,223,307	199,129	1.0%
下水道事業特別会計	3,914,093	3,878,754	35,339	0.9%
介護サービス事業特別会計	1,000,926	1,124,064	△123,138	△11.0%
介護保険事業特別会計	12,794,322	12,123,098	671,224	5.5%
後期高齢者医療特別会計	3,973,759	3,852,208	121,551	3.2%
合計	42,105,536	41,201,431	904,105	2.2%
総計	109,725,410	110,740,359	△1,014,949	△0.9%
純計	101,628,654	102,857,383	△1,228,729	△1.2%

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。
※「△」はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
繰入・歳出総額	64,789	△3.2%	66,335	2.4%	69,401	4.6%	69,539	0.2%	67,620	△2.8%
うち市税	33,812	0.4%	35,272	4.3%	36,433	3.3%	36,793	1.0%	37,290	1.4%

※「△」はマイナス。

「平成29年度施政方針・予算概要」(1冊200円)、「平成29年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊900円)は、相談・情報センター(市役所2階) ☎ 内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

一般会計 676億1,987万円 (1人当たり365,513円)

※「%」は、一般会計予算に占める割合を示しています。
※1人当たりの金額は、平成29年度の人口見込み185,000人で割り返した金額です。

歳出予算

- 議会費** 5億1,129万円 0.8% (1人当たり2,764円)
市議会の運営に
- 総務費** 77億4,010万円 11.4% (1人当たり41,838円)
市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに
- 民生費** 350億6,905万円 51.9% (1人当たり189,562円)
社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに
- 衛生費** 40億6,754万円 6.0% (1人当たり21,987円)
健康増進、ごみ処理、公害対策などに
- 土木費** 52億5,525万円 7.8% (1人当たり28,407円)
道路、公園整備、緑化対策などに
- 消防費** 23億1,596万円 3.4% (1人当たり12,519円)
消防や防災対策などに
- 教育費** 76億3,497万円 11.3% (1人当たり41,270円)
小・中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに
- 公債費** 40億5,056万円 6.0% (1人当たり21,895円)
市債(借入金)の返済に
- その他** 9億7,515万円 1.4% (1人当たり5,271円)
消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

歳入予算

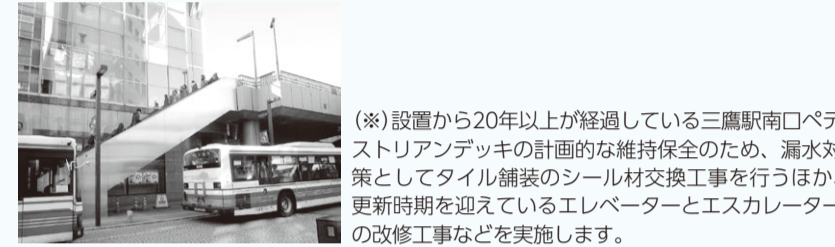
- 市税** 372億9,023万円 55.1% (1人当たり201,569円)
みなさんから預かりする税金
- 各種交付金** 45億6,405万円 6.7% (1人当たり24,670円)
使い方が定められていない国・都からの交付金など
- 使用料・手数料、分担金・負担金** 19億5,262万円 2.9% (1人当たり10,555円)
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入
- 国庫支出金** 109億338万円 16.1% (1人当たり58,937円)
使い方が定められている国からの負担金・補助金
- 都支出金** 81億7,918万円 12.1% (1人当たり44,212円)
使い方が定められている東京都からの負担金・補助金
- 繰入金** 16億2,463万円 2.4% (1人当たり8,782円)
基金(貯金)の取り崩しなど
- 市債** 13億3,000万円 2.0% (1人当たり7,189円)
都市再生に係る事業などのための借入金
- その他** 17億7,578万円 2.7% (1人当たり9,599円)
前年度決算の繰越金や財産売却収入など

平成29年度の主な事業

※「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」のプロジェクトに基づき分類しています。

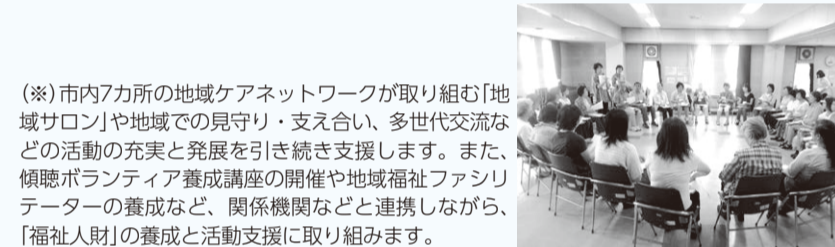
都市再生プロジェクト

- 庁舎等の建て替えに向けた基本構想の策定に着手 1,392万7千円
- 三鷹駅南口ペデストリアンデッキの改修(※) 1億5,234万5千円
- 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進 232万5千円
- 下水道施設の長寿命化の推進 2億8,784万円



コミュニティ創生プロジェクト

- コミュニティ創生研究事業の推進 23万4千円
- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展(※) 1,338万2千円
- 多世代交流センターの円滑な運営 5,257万1千円



安全安心プロジェクト

- 中仙川改修による都市型水害対策の推進 1億3,122万円
- 災害情報システムの運用 2,377万1千円
- 通学路の安全確保の充実 729万8千円

子ども・子育て支援プロジェクト

- 私立認可保育園の開設支援 6億6,282万6千円
- 子ども発達支援センターの円滑な運営 1億3,312万3千円
- 「ウェルカムベビープロジェクトみたか」の推進 2,679万7千円
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展 758万8千円
- 「校内通級教室(特別支援教室)」の設置 2,999万8千円

健康長寿社会プロジェクト

- 在宅医療・介護の連携の推進 673万7千円
- 前立腺がん検診の実施 486万7千円
- 「第七期介護保険事業計画」の策定 424万7千円
- 「ロコモティブシンドローム・プログラム(仮称)」の実施 60万円

セーフティーネットプロジェクト

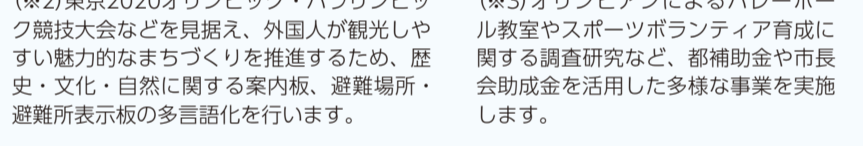
- 生活困窮者自立支援事業の充実 2,811万1千円
- 調布基地跡地心身障がい(児)福祉施設整備などに向けた取り組み 46万円
- 北野ハピネスセンターの大規模改修と成人部門の効果的な運営 1億9,704万9千円

サステナブル都市プロジェクト

- 商店会街路灯LED化の推進 194万6千円
- まちなかグリーンベルトの推進 470万円
- 「公園・緑地の適切な活用に向けた指針(仮称)」の策定に向けた取り組み 15万円

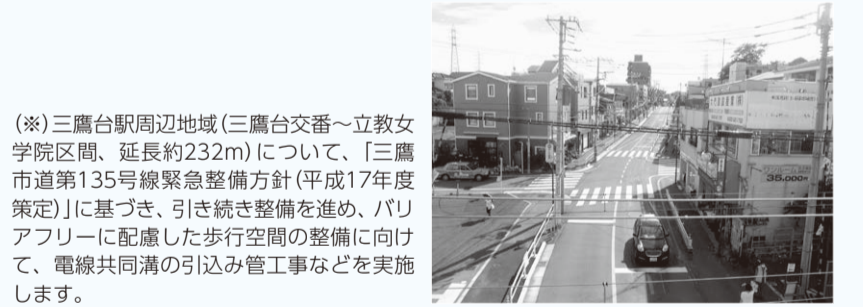
地域活性化プロジェクト

- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの最適な管理運営(※1) 7,410万4千円
- 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化(※2) 1,107万2千円
- 大沢二丁目古民家(仮称)整備の推進 1億957万6千円
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成(※3) 753万7千円



都市交通安全プロジェクト

- 市道第135号線(三鷹駅前通り)整備の促進(※) 1億2,749万1千円
- 自転車の安全利用の推進 63万円
- 都市計画道路3・4・13号(牟礼)整備の促進 1億7,046万5千円
- 都市計画道路3・4・7号(連雀通り)整備の促進 1,768万5千円



その他の新規・拡充事業

- 情報環境の整備**
 - 情報セキュリティ対策のさらなる強化 6,262万5千円
- 住環境の改善**
 - 空き家などの管理不適切な建築物に関する適正管理の推進 657万1千円
- 生涯学習の推進**
 - 井の頭コミュニティセンター図書室と市立図書館との連携 3,917万9千円
- 市民スポーツ活動の推進**
 - 大沢総合グラウンド夜間照明設備などの整備 3億9,128万4千円
- [21世紀型自治体]の実現と都市自治の確立**
 - 社会保障・税番号制度への対応 1億3,569万円